

国立女性教育会館とは

国立女性教育会館は1977年に文部省の附属機関として設置された、男女共同参画を推進するナショナルセンターで、英文名称のNational Women's Education Centerの頭文字をとってNWEC（ヌエック）と呼ばれています。

埼玉県嵐山町にあり、東京ドーム2個分の敷地に女性教育情報センター・女性アーカイブセンターのある本館、300人以上泊まれる宿泊棟、講堂や様々なタイプの研修室のある研修棟、体育館、茶室等があります。

緑豊かな静かな環境で、NWECは「研修」「調査研究」「広報・情報発信」「国際貢献」の4つを連携させながら事業を実施しています。



女性教育情報センター
男女共同参画および女性・家庭・家族に関する専門図書館です。どなたでも利用できます。約14万冊の図書、4千タイトル以上の雑誌、新聞の切り抜き52万件以上を所蔵しています。館内での閲覧・貸出のほか、新聞切り抜きを含む所蔵資料は、インターネットが使える環境であれば、女性情報ポータルWinetの「文献情報データベース」から調べることができます。学校・団体へのパッケージ貸出、個人でも利用できる図書館間貸出、Web文献複写サービスも提供しています。



女性情報ポータル“Winet”

女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の総合窓口です。

女性教育情報センター所蔵資料を調べることができる「文献情報データベース」のほか、全国の女性/男女共同参画センター情報を集めた「女性関連施設データベース」、日本の女性及び男性の状況を把握する上で重要な統計を提供する「女性と男性に関する統計データベース」、男女共同参画社会形成に役立つweb情報へのリンク集

「女性情報ナビゲーション」、女性/男女共同参画センターでよくある情報相談（レファレンス）を、Q & Aの形式でまとめた「女性情報レファレンス事例集」など、様々な情報を提供しています。

ぜひアクセスしてご利用ください。
<https://winet.nwec.jp/>

世界の女性・ジェンダー 図書館めぐり

紹介ポスターシリーズ 第3弾

二〇〇八年に開設した新しい施設です。本館1階に展示室、3階に閲覧室と書庫があります。女性教育や男女共同参画施策等に関わった全国的な女性団体や女性の、原則として非刊行の公私の記録（文書、音声記録、映像記録等）を収集・整理・保存・提供しています。所蔵資料の目録は、「女性デジタルアーカイブシステム」で公開しています。一部の資料は画像も公開しており、来室せずに本文をご覧いただけます。

女性アーカイブセンター